

上越北線建設工事 清水隧道貫通後の狀況

鐵道省長岡建設事務所長 淺間逸雄

一、本線の位置

上越北線は信越線宮内驛に起り上越の國境藤倉岳に至る實延長五四哩六〇鎖八二節、三五の區間にして、小千谷、小出、六日町、鹽澤、湯澤等の諸邑を過ぎ、土樽村松川に捲狀線ループをなして其のループ線内に第一、第二松川隧道を穿ちて昇り、上越國境藤倉岳の直下に東洋第一の長大隧道清水を貫きて群馬縣に入り、上越南線に接續す。

二、測量

本線の測量は大正六年六月、宮内、川口間の地形測量に始まり、大正十四年十二月松川隧道附近の改測をなして終る。

三、工 事

本區間を十工區に分ち、第一工區より第七工區迄を請負として八、九、十の三工區は松川、清水等の長大隧道ありて省の直轄工事となす。

四、未成工事

イ、第八工區（直轄工事）松川土樽（信號所）間延長三哩五二鎖四節六にして着手大正十五年九月二十八日、竣工昭和四年度中の豫定なり、工程約八分弱の進捗を示す。線路は第十工區魚野川橋梁に接し高臺に移り、第二松川隧道ループ延長五千三百八十八呎九を穿ちて昇り其直上に出で、松川第一隧道延長五千二百八十

六呎六を山腹に穿ちて谿流毛渡澤川七百十三呎餘の長大橋梁を架し土樽信號所に接す。

ロ、第九工區（直轄工事）土樽信號所延長四十鎖五十節、着手大正十五年九月、其大部分は信號所の地築にして清水隧道の硝捨場に利用しつゝあり、工程約九分とす。

ハ、第十工區（直轄工事）土樽藤倉岳間延長三哩十三鎖、着手大正十二年五月十五日竣工昭和五年度中の豫定にして、工程約九分弱なり、線路は第一魚野川橋梁延長二百五十六呎を渡り直に清水隧道延長三萬一千八百三十一呎を穿つ、而して清水隧道の中央迄約延長一萬六千二百九呎を長岡建設事務所所管として之に接し、隧道内信號所設置の計畫あり。

五、隧道工事

湯澤松川間（第七工區）延長三哩十七鎖七三節一は土工々事の竣工に伴ひ軌道工事を起す、其工程は中里停車場の側線を除き第二魚野川長岡方橋臺迄本線の軌條布設を終る、尚ほ第二魚野川橋梁（六〇呎十二連）は橋桁四連の架設をなす。使用軌條は五〇呎（百封度）橋桁 E40 なり。

六、開 業

本區間は工事の竣工に伴ひ順次（47頁へ）

